

暴力による言論封殺、民主主義破壊を許さない 安倍晋三元首相に対する銃撃テロを非難する談話

7月8日、安倍晋三元首相が奈良市内を参議院選挙の遊説中に元自衛官に銃撃され亡くなりました。お互いに意見の相違はあっても、言論の自由が最大限保障されなければならない参議院選挙演説中の凶行であり、言論の自由と民主主義を踏みにじり破壊する断じて許されない蛮行です。

今、ロシアのウクライナ侵攻のような、戦争という最大の暴力によって自分の考えを押し通そうとする愚行を我々は目の当たりにしています。このような考え方や行動が世界や日本に広がってはなりません。平和と民主主義を守り、互いの多様性を認めあう寛容な精神と自由な共存が今まさに求められています。

参院選投票直前の今回の蛮行によって選挙や選挙結果がゆがめられてはなりませんし、同時に、政府や警察によって今回の事件の全容が解明されるまでは、安易な憶測に基づいた論評をすべきではないとも考えます。また、今回の事件を口実に、言論の自由や政治的な活動の自由が制限を受けるような方向に行かないよう注意深く事態の推移を見守る必要があると考えます。

私たち兵庫県高等学校教職員組合は、教育にたずさわる人間として、児童生徒に平和と自由と民主主義を大切にしようと日々教育活動を行っています。それらを守り発展させるため、また子どもたちの健全な成長のためにも、今回の蛮行を強く非難するとともに、私たちは怯まず萎縮せず投票を行うこと、また自由と民主主義を守るために全力を尽くすことを全ての皆さんに訴え、ここに表明します。

2022年7月9日

兵庫県高等学校教職員組合
書記長 赤松弘基